

## ニカラグア定期報告（2016年4月）

2016年5月  
在ニカラグア日本大使館

### 【要旨】

#### 〈内政・外交〉

内政では、国軍が2015年の国軍年間報告書を国会に提出し、国軍の麻薬対策の成果を強調した。外交では、米務省が国別人権レポートを発表し、ニカラグアの人権問題につき指摘した。また、中米地域を陸路で通過中の約140人のアフリカ不法移民がコスタリカとニカラグアの国境に到着した。

#### 〈経済〉

2日、IDB総裁が来訪し、当国のインフラ整備の重要性を強調した。続いて25日には、世銀副総裁が来訪し、オルテガ大統領との会談において当国の経済成長を評価すると共に複数分野での支援に関心を示した。また、22日、ヌエバギネア市において、主に運河ルート沿いの住民数千人が集結し、両大洋間運河建設計画の反対を訴えてデモ行進を実施した。

### 【主な出来事】

#### 1 内政・外交

##### (1) 米務省による国別人権レポート

13日、米務省は国別人権レポートを発表し、同レポートのニカラグア部分において、以下の指摘を行った。

オルテガ政権は行政手続きにおいて市民社会組織を萎縮させている。また、投票権の制限、フリージャーナリストに対する圧力を含む報道の自由及び表現の自由の制限、公的情報や統計へのアクセス制限をしている。さらに、NGOや市民社会団体に対し圧力をかけるケースが増加している。政府関係者を批判する国内外組織に対し、批判をやめさせる、あるいは恐怖を与えるために圧力がかけられている。政府機関、特に国家警察、最高選挙管理委員会、司法による汚職が見受けられる。政府は、法律を遵守せず、公務員は頻繁に汚職に関与しているが、処罰されない。年平均5億ドルのベネズエラからの経済支援や融資の支出は、国家予算には勘定されず、政府によりコントロールされている。人権団体や野党系の独立組織によれば、政府関係者が率いる家族委員会（Gabinete de la Familia）（当館注：ムリージョ大統領夫人により創設された政府のプログラムを実施するための大衆の社会組織）やサンディニスタ指導委員会（CLS）の存在により政府と与党サンディニスタ民族解放戦線（FSLN）の境界線が曖昧になっている。CLSや家族委員会を通して実施される食糧、住居、ワクチンの供給、医療へのアクセスやその他の公共サービスは野党派には供給されておらず、国民は、これらサービスを受けるためにサンディニスタ派に所属することを強

制されているように見受けられる。

#### (2) 2015年の国軍の年間報告書提出

14日、アビレス国軍司令官は、2015年の国軍の年間報告書を国会に提出し、「国境警備により、年間280～300トンの麻薬のニカラグア国内への流入を防いだ」と述べた。同司令官によれば、2015年中に押収した麻薬は3.5トン超で、そのうち約3トンはコカインである。これは、「抑止壁」と題する麻薬・組織犯罪に対する戦略による成果である。また、家畜保護の問題に関し、同司令官は、2015年、4,000頭の密輸された家畜を取り戻し、飼い主に返還した。今後、地方におけるコーヒー及び家畜の保護政策を強化する、旨述べた。

#### (3) アフリカ・アジア移民

14日、米国を目指し、中米地域を陸路で通過中の約140人のアフリカ不法移民がコスタリカとニカラグアの国境（コスタリカ側）に到着した。アフリカ移民は、ニカラグアが入国を認めないことに対し、道路を閉鎖して抗議を行った。また、これらアフリカ移民は、必要な手続きを決定するため、コスタリカの移民管理局の管理下にいる。公開情報によれば、客年9月以降、ニカラグアには少なくとも69人のアジア及びアフリカ移民（移民の出身国の内訳は、コンゴ(民)、ギニア、セネガル、ガーナ、ネパール、インド、バングラデシュ、パキスタン）が入国しており、2015年、ニカラグアにおいて、9,282人の不法通過移民が確認された。

## 2 経済

#### (1) IDB総裁の当国来訪

21日、モレノIDB総裁は、当国企業家及び政府関係者等と会合をし、ニカラグア経済の達成状況や課題につき意見交換した。同総裁は、ニカラグアは少なくとも今後20年間、毎年約1.8億ドルを輸送インフラ整備に当てる必要があると述べた。また、ニカラグアの地図を見れば、道路網がなく、生産しても輸送の方策がない重要な農業生産地が存在することがわかると同総裁は述べた。また、同日、オルテガ大統領との会談において、同総裁はより多くのインフラ・プロジェクト実施の重要性につき述べ、カリブ海側ブルーフィールドズの市の港建設に係るプレフ/Sに対する2千万ドルの融資を約束した。

#### (2) 両大洋間運河建設計画反対デモ行進の実施

22日、数千人の住民が両大洋間運河計画の反対を訴え、ヌエバギネア市に集結し、デモ行進を行った。右デモ行進の間、(デモ主催団体の)土地・湖・主権保護協議会のトレス調整員は「見てのとおり、日々我々の運動は強化されている。政府が我々の主張を退けている限り、状況は政府にとって悪化する一方である。我々は権利が尊重されるよう、戦い続ける。」と述べた。今回はデモ行進を実施するに当たっての警察や国軍からの圧力はなかった。しかし、ラミレス土地・湖・主権保護協議会調整員は、(警察・軍関係者は)催涙弾を投げると住民等に話し、デモ行進への動員を妨害する脅しがあったと強調する。デモ終

了後には、次のデモ行進実施が提案された。アラナ同協議会委員は、運河本体工事開始時にリバス県での実施を検討していくと述べた。

### (3) 世銀副総裁とオルテガ大統領との会談

25日、ファミリア世銀副総裁（ラテンアメリカ・カリブ海地域）が当国を来訪し、オルテガ大統領と会談した。会談では、再生可能エネルギー、気候変動及び開発政策等世銀の関心あるプロジェクトにつき協議された。同副総裁は、ニカラグアはラ米で最も事業実施状況が良好であると述べ、「ニカラグアは、近年、著しい成長が続いている国として際立っている。我々が支援している道路の舗装状況を見る機会があった。道路の管理におけるコミュニティの参加や後にコミュニティにもたらす利益は極めて印象的である。」と当国のコミュニティ・モデルに感銘を受けた旨述べた。

### <主要経済指標>

	2016年			2015年	2014年
	4月	3月	2月		
インフレ率（前年同月比）	3.6%	3.7%	3.4%	5.7%	4.9%
貿易収支(百万ドル)	未発表	△273.0	△270.9	△3,012.5	△2,820.3
輸出 FOB(百万ドル)	未発表	207.4	190.0	2,421.7	2,632.7
輸入 FOB(百万ドル)	未発表	480.4	460.9	5,434.2	5,452.9
海外送金（百万ドル）	未発表	107.7	103.4	1,193.4	1,135.8
外貨準備高(百万ドル)	2,520.4	2,480.5	2,404.4	2,492.3	2,276.2

(出典：ニカラグア中央銀行)